



世界経済の今後

令和7年11月10日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

新しい世界という未来への歩みは、今後世界経済が歩む未来である。しかしそれらが夢想する未来の実現を有するかは、インフレと生活の困窮という今日の世界の現実において疑問を与えるものである。

また各国の財政状況は、今後の世界経済を変化させるものであり、金利政策と為替の変動は、その豊かさの変化を世界経済において、与えるものである。

これらは不安定要因であり、企業経営に直結するものである。他方においては先端技術とシステムにおける企業製品の向上が存在し、これらが世界経済における既存の現実としてそれらが与える利便性や機能性は新たな未来の創造を行うものである。

デジタル経済とデジタル社会、ネクストソサエティへの転換は今日の変化の真実であり、それらが今日世界経済をけん引する原動力である。

これらはより高い生産性や効率性が豊かさの創造を与えることであり、金融経済がそれら先端性において自己の利益を模索することは、株式の高騰を与える基盤である。

これらは今日の世界経済への正しい考察であり、その背後には世界の金融資本が存在することは周知の事実である。

この観点から日本の経済政策を考察するとき、その脆弱さが理解である。世界の現実と乖離するためである。

これら視点は企業や個人が自己の生活の防御へ自己の行動を求められることを意味するものである。

それらは正しい現実への認識と企業経営や生活の構築を行うことは今日の変化に対してそれらが無防備に受け入れることでなく、正しい判断とともに自己を行う必要性を与えるものである。